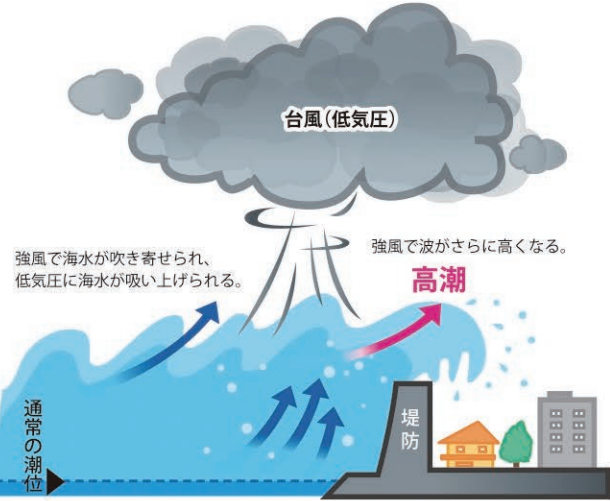


高潮浸水想定区域図(想定最大規模)

高潮について

高潮発生のメカニズム



低気圧による吸い上げ

台風や低気圧の中心付近では、気圧が低いため、その部分の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。
気圧が1hPa(ヘクトパスカル)低くなると、海面は約1cm上昇します。

風による吹き寄せ

台風などによる強風が沖から海岸に向かって吹くと、海水が海岸に吹き寄せられ海面が上昇します。潮位の上昇は風速の2倍に比例します。風速が2倍になれば海面上昇は4倍になります。
また、台風接近に伴い風で大きな波も発生して、海面がさらに高くなります。

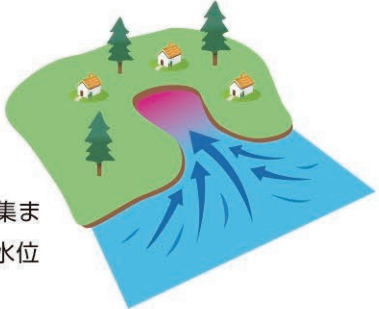
高潮の危険なところ

○ 海岸付近の低平地



海岸付近の低地では、高潮による浸水被害を被る危険性が高くなります。

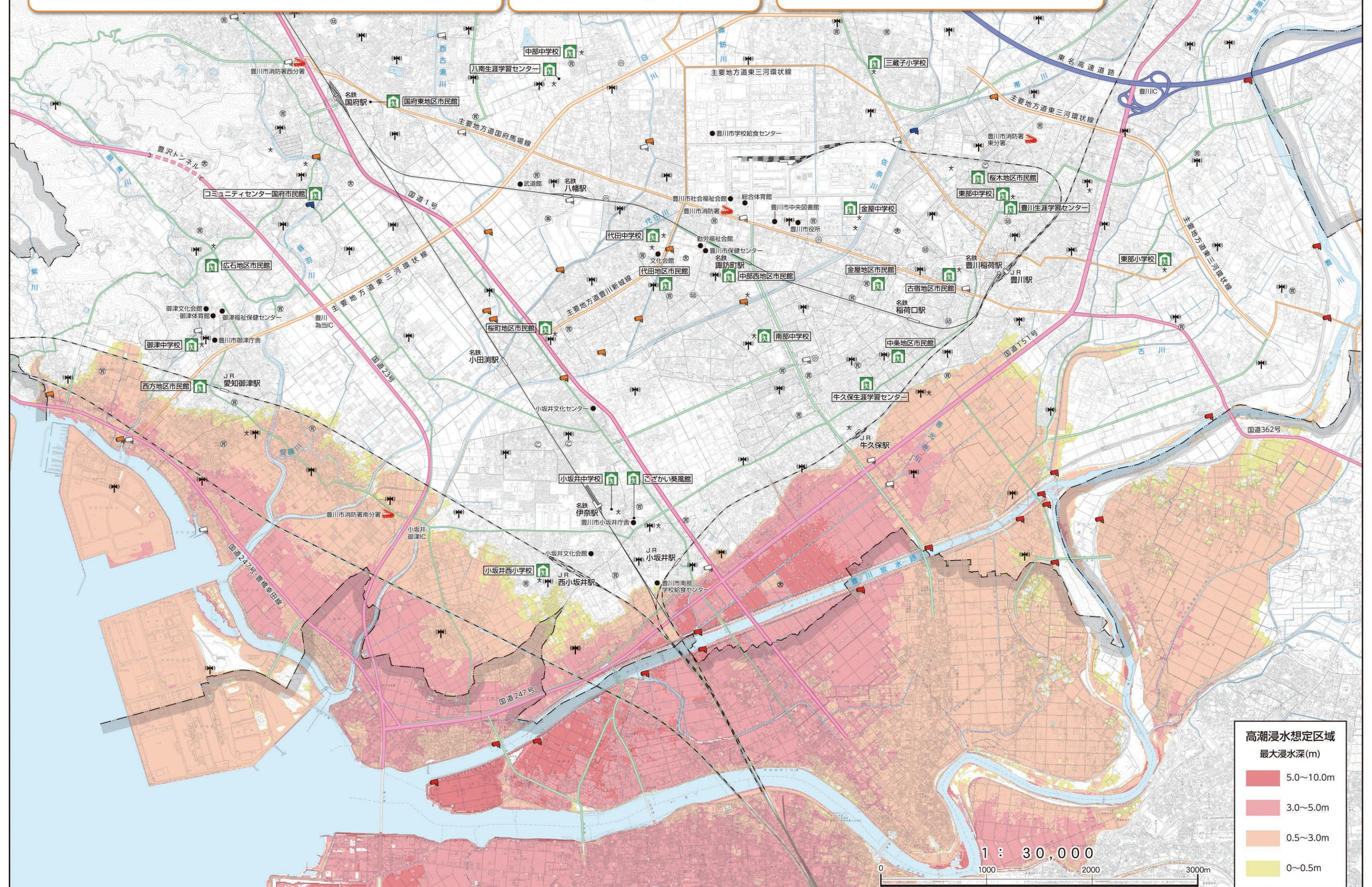
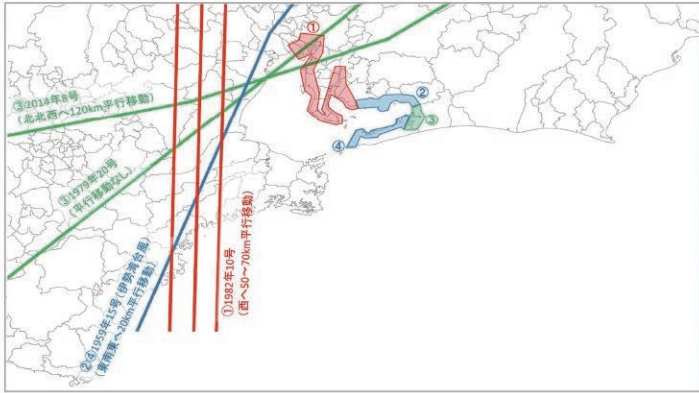
○ 湾奥部



海水が湾奥に集まるので湾内の水位が上がります。

高潮浸水想定区域図について

- 令和3年6月 愛知県公表
- 想定し得る最大規模の高潮(発生確率 五百年から数千年) 既往最大台風である「室戸台風級」を想定
- (中心気圧:910hPa)(移動速度:73km/h)(半径:75km)
- 堤防が全て決壊した場合の浸水を想定
- 高潮と同時に河川での洪水を考慮
- 4つの台風コースを設定



高潮浸水想定区域 最大浸水深(m)	
5.0~10.0m	
3.0~5.0m	
0.5~3.0m	
0~0.5m	